

NEWS 絆

東北生産性本部

令和3年度 仙台シンポジウム12月例会開催

2022年世界の潮流を読む

令和3年度 仙台シンポジウム12月例会は、日本総合研究所 会長 寺島 実郎 氏を講師にお迎えし、約70名の参加を得て開催いたしました。

■ 12月例会（令和3年12月15日開催）

講師 （一財）日本総合研究所 会長 寺島 実郎 氏

1973年早大大学院政治学研究科修士課程修了、三井物産㈱入社。91年米国三井物産ワシントン事務所長、99年㈱三井物産戦略研究所所長、2001年（財）日本総合研究所理事長、06年三井物産㈱常務執行役員、09年多摩大学学長、16年（一財）日本総合研究所会長。

TBS「サンデーモーニング」、TOKYO MX「寺島実郎の世界を知る力」などに出演。



【ご講演要旨】

新型コロナウイルス問題から国際関係、国内外の政治・経済・歴史まで幅広い内容についてご講演をいただきました。

- 新型コロナとスペイン風邪の比較
- 「日本の埋没」とその原因
- 21世紀の日本産業の進路
- 全体知の不足（部品のみ、完成体は外国）
- データリズムへの対応
- 食糧問題
- 日本の家計消費構造の変化
- 資本主義の新局面（金融資本主義・デジタル資本主義へ）

以上、大変有意義なご講演ありがとうございました。

「令和4年度 仙台シンポジウム」につきまして

令和4年度の仙台シンポジウムにつきましては、現在、講師の選定中でございます。

来年度も7月から12月まで6例会を開催の予定です。

来年の3月に令和4年度の開催予定をご案内いたしますので、ご期待ください。